

一般社団法人 日本家政学会 家族関係学部会ニュースレター
Council on Family Relations, Japan Society of Home Economics



2025 年度 第 1 号 2025. 7. 10 発行



編集 中川 まり

発行 家族関係学部会事務局

***** INDEX *****

- 部会長より
- 第 45 回家族関係学セミナーのご案内
- 編集委員会より
- 会計より
- 庶務（会員管理）より
- 2024 年度事業報告
- 2024 年度収支決算書

★ ★ ★ 部会長より ★ ★ ★

奥田 都子（静岡県立大学短期大学部）

天の川に思いをはせる頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。第 45 回家族関係学セミナーまで 3 か月となり、実行委員長の冬木春子先生はじめ委員の先生方にはお忙しい中でのご準備ありがとうございます。今年のセミナーは 10 月 11、12 日の 2 日にわたり、静岡県立大学小鹿キャンパスを会場として、対面で開催いたします。公開シンポジウムでは、「制度・政策と家族関係」という大きなテーマを設け、司法にかかわる実務の現場において、現行の制度・政策が家族関係にどのように関わっているかを問う企画を 2 年かけて進めます。今年度は、親子関係に焦点をあて、2024 年 5 月に可決された民法一部改正をふまえて、「親」の責務の明示化や選択的共同親権の導入等が、離婚や社会的養護における親子関係の変化（再編）にどのような影響を与えるのかについて考えます。登壇者として、司法・行政の現場に携わる研究者をお迎えし、参加者も含めて議論を深めたいと考えています。この問題に关心を寄せる多くの方々の意見交換や交流の場となり、「ふじのくに」静岡の魅力にも触れていただけるよう、実行委員長と部会長がタッグを組んでおもてなしの準備を進めています。ぜひ静岡での初のセミナーにお越しください。

編集委員会では『家族関係学』第 44 号の刊行に向けて、編集作業が進行中です。昨年度の公開シンポジウム「人生をどう締めくくるのか—終活ブームの背景にある家族と社会の変化—」を特集テーマとしておりますので、どうぞお楽しみにお待ちください。また、日本家政学会の依頼により 6 月 13 日付で家政学会員の方に、家政学会誌配信用のメールアドレス情報の提供についてお願いメールをお送りしましたが、速やかに回答にご協力いただきましてありがとうございました。いずれ部会でも電子ジャーナル化について検討することになろうかと思いますので、家政学会や他部会の取組み状況を見ながら検討を進めたいと考えています。今後も部会の活動に皆様のご協力をお願い申しあげます。

第45回家族関係学セミナーのご案内

第45回家族関係学セミナー実行委員長 冬木春子（静岡大学）

■日程およびプログラム概要

1日目 10月11日（土）13:00～16:00 公開シンポジウム
16:30～17:30 総会

2日目 10月12日（日）午前 自由報告【1報告につき 報告時間18分、質疑応答5分】

※プログラムはすべて対面開催で行います。

※2日目の時間は演題数により確定します。8月発送のプログラム及び部会HPにてご確認ください。

■会場

静岡県立大学 小鹿キャンパス

〒422-8021 静岡市駿河区小鹿2丁目2番1号

■公開シンポジウム

テーマ：「制度・政策と家族関係—いま、『親』とは何か・『子』とは何か」 13:00～16:00

司会 山根真理（神戸大学人文学研究科研究員）・村田晋太郎（三重大学准教授）

報告1 犬伏由子氏（慶應義塾大学名誉教授）

親であること、親権者であること—2024年民法改正と「子の利益」—（仮題）

報告2 関井友子氏（文教大学教授）

現代家族と民法改正（仮題）

報告3 音山裕宣氏（静岡県立大学短期大学部准教授）

家庭養護における親子関係再構築の現状と課題—代替養育から共同養育への転換—（仮題）

討論 菊地真理（大阪産業大学教授）

※公開シンポジウムの詳細については、8月下旬にお送りするプログラムにてお知らせいたします。

■自由報告の募集

10月12日（日）に行われます「自由報告」の報告者を募集します。自由報告を希望される方は、下記のQRコード、もしくはgoogleformのリンクからお申込みください。なお、発表要旨集を作成いたしますので、要旨原稿の作成方法等につきましては、報告申込者に後日ご連絡申し上げます。

第45回家族関係学セミナー
自由報告申込みフォーム →



フォームのリンク

<https://forms.gle/zUYSQzq2D61U227G8>

問い合わせ先

murata@edu.mie-u.ac.jp (三重大学教育学部 村田晋太郎宛)

自由報告申込み期限：2025年7月21日（月）23：59まで

報告要旨の締め切り：2025年8月29日（金）必着

■プログラムのご案内と参加申込み

「プログラムのご案内と参加申込み」は8月下旬に発送する予定です。参加費、自由報告の申し込み等、詳細につきましては、6月中旬に送付しました「第45回家族関係学セミナーのご案内と自由報告募集のお知らせ」をご覧ください。

■連絡先：第45回家族関係学セミナー実行委員会事務局

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学教育学部 冬木春子

E-mail : fuyuki.haruko@shizuoka.ac.jp

★ ★ ★ 編集委員会より ★ ★ ★

中谷 奈津子（編集委員長／神戸大学）

編集委員会は、8人体制で、『家族関係学』No. 44の12月刊行に向けて編集作業を進めています。

44号の投稿論文に関しまして、お忙しい中、査読をお引き受け頂いている部会員の方々には厚く御礼申し上げます。45号の投稿締め切りも例年通り、2026年3月末日の予定ですので、最新の投稿規定・執筆要項をご確認いただき、ぜひ今からご準備いただきますよう、何卒よろしくお願い致します。

また、書評・文献紹介では、本年5月1日から来年4月30日までの間に刊行された、部会員が執筆に関わったすべての文献を対象として検討します。皆さまには編集委員会宛てに積極的に献本いただくなど、多くの情報をお知らせくださいますようお願い致します。

刊行後の編集作業として、部会誌の発送業務、さらにJ-STAGEへの電子ジャーナル登載があります。刊行後、当該年度内にすみやかに公開しており、既に43号を登載しました（現在27号から43号までを登載）。また、26号以前の既刊号も順次計画的に登載する予定です。電子ジャーナルは、下記サイトからご覧頂けますので、ご確認下さい。

https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjfr/_pubinfo/-char/ja

ご不明な点、ご要望等がございましたら、以下のアドレスまでご連絡下さい。ぜひ忌憚のないご意見をお寄せ下さい。

『家族関係学』編集委員会 E-mail: edit@kazokukankeigaku.jp

★ ☆ ★ 会計より ☆ ★ ☆

森田 美佐 (会計／高知大学)

2025年度部会費として5,000円（学生会員2,000円）を請求させていただきます。請求書は6月中旬に送付しています。払込取扱票にて納入くださいますようお願いいたします。前年度までの未納分のある方には、納入いただく金額を「年会費納入のお願い」に記載しております。

2025年度に学生会員として入金を希望される方は、学生証の写しを郵送、画像・PDFファイル添付のいずれかの方法で、家族関係学部会事務局まで提出をお願いいたします。提出期限は2025年7月22日（火）までとさせていただきます。なお、学生会員の場合は2年分の会費を前納することはできません。ご不明の点がございましたら、下記までご連絡ください。

年会費振り込み先：（郵便振替）00310-6-30229 家族関係学部会

連絡先：高知大学教育学部 森田美佐 〒780-8520 高知市曙町2-5-1

Tel : 088-844-8421 E-mail : inquiry@kazokukankeigaku.jp (家族関係学部会事務局)

【お尋ね】6月25日に高槻店からお振込みをされた方（非会員として5,000円ご入金）に、連絡を差し上げたく存じます。家族関係学部会事務局までお知らせ頂けますでしょうか。

宜しくお願ひ致します。

★ ☆ ★ 麻務（会員管理担当）より ☆ ★ ☆

永田 晴子 (麻務／大妻女子大学)

○会員登録情報の確認票を「年会費納入のお願い」に同封してお送りしております。2025年6月1日現在の登録情報が記載されておりますので、ご確認いただき、登録内容に変更がある場合には、確認票に記載されているURLまたはQRコードからお知らせください。

・回答用URL・QRコード（2025年7月31日まで）

URL: <https://forms.gle/vmjqmTgLEcY8JFR4A>

*7月31日以降に変更が生じた場合には、

事務局までメールでご連絡ください。



○バックナンバーの購入について

「家族関係学」の在庫は、30号（9冊）、31号（8冊）、32号（9冊）、33号（6冊）、34号（10冊）、35号（10冊）、36号（5冊）、37号（31冊）、38号（21冊）、39号（53冊）、40号（43冊）、41号（49冊）、42号（17冊）、43号（6冊）です。1冊2,000円で購入できます。購入希望の方は、下記の連絡先までお知らせください。ご所属の図書館等の蔵書としてもお買い求めいただきますようお願いします。

なお、『家族関係学』の在庫の保管・販売は、よしみ工産株式会社東京事務所に業務委託しています。購入希望者の方には、よしみ工産株式会社より郵送されます。

連絡先：連絡先:大妻女子大学 永田晴子

〒102-8357 東京都千代田区三番町12 Tel:03-5275-6298 Fax:03-5275-6298

E-mail: inquiry@kazokukankeigaku.jp (家族関係学部会事務局)

❀+++++❀+++++❀+++++❀+++++❀+++++❀+++++❀+++++❀+++++❀

家族関係学部会

メールマガジン配信アドレス : info@kazokukankeigaku.jp

家族関係学部会事務局アドレス : inquiry@kazokukankeigaku.jp

家族関係学部会ホームページ URL : <http://www.kazokukankeigaku.jp/>

❀+++++❀+++++❀+++++❀+++++❀+++++❀+++++❀+++++❀

2024年度事業報告

1. 研究発表会、公開講演会等の開催

(1) 研究発表会

2024年10月26日、27日に東京家政学院大学千代田三番町キャンパスを会場として、対面およびオンライン(Zoom)によるハイブリット形式で開催した。自由報告は2会場で9報告行われた(報告者はすべて対面参加)。自由報告の参加者43名(対面参加 34名、オンライン参加 9名)。

(2) 公開講演会・シンポジウム等

「家族関係学セミナー公開シンポジウム」の開催

2024年10月26日(土)に、対面およびオンライン(Zoom)のハイブリット形式で開催した。

(開催校:東京家政学院大学)

テーマ「人生をどう締めくくるのか—終活ブームの背景にある家族と社会の変化—」

シンポジストと報告タイトル

第1報告:「『死後福祉』をつくる—無縁社会における支援システム—」

井上治代氏(東洋大学客員研究員)

第2報告:「変容する家族と葬儀—私たちは葬儀に何を求めるのか—」

渡邊千恵子氏(尚絅学院大学教授)

第3報告:「財産の家族的継承と社会的継承—自己決定としての遺贈寄付」

星野哲氏(立教大学研究員)

参加者60名(対面参加 46名、オンライン参加 14名)

2. 部会誌の刊行

『家族関係学』No.43 2024年12月1日発刊(210部)

3. 研究及び調査の実施

本年度実施せず。

4. 内外の関連学協会との連携及び協力

日韓学術交流:2024年11月2日(土)に韓国 家族関係学会のシンポジウムに宮坂靖子会員(金城学院大学)を派遣し、下記の講演を行った。

講演タイトル:「国際比較調査からみた日本の家族とケア—ジェンダーと情緒規範からのアプローチ—」

5. 出版

本年度実施せず。

6. 『家族関係学』のJ-STAGE登載

27号、28号 2024年4月17日登載 42号 2025年1月23日登載

7. その他、目的を達成するために必要な事業

ニュースレターの発行2回 2024年7月29日、2025年2月21日

メールマガジンの発行5回(第27~第31号) 2024年6月6日、6月27日、7月26日、9月17日、12月20日

ホームページの更新5回 2024年7月26日、9月10日、12月25日、2025年1月8日、2月21日

8. 会員の状況(2025年3月31日現在)

会員総数 173名(正会員146名、名誉会員7名、学生会員20名)

以上

2024年度収支決算書

<③家族関係学部会>2024年度決算書

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位:円)

| 科 目 | 注意 | 2024年度 | 決算 | 差異 | 備考 |
|---------------------|-------------------------------------|-----------|-----------|----------|---------------|
| 一般正味財産増減の部 | | | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | | | |
| (1) 経常収益 | | | | | |
| ①基本資産運用益 | (本部のみ) | | | | |
| 特定資産運用益 | 大会基金となっている定期預金の利息 | | | | |
| 入会金 | | | | | |
| 年会費 | | 770,000 | 649,500 | 120,500 | ゆうちょダイレクトより |
| 会誌購読料 | | 32,340 | 40,030 | ▲ 7,690 | ゆうちょダイレクトより |
| 大会等参加費 | | 285,000 | 253,500 | 31,500 | セミナー報告書より |
| 広告料 | | | | | |
| 刊行物売上 | | 2,000 | 0 | 2,000 | |
| 著者負担金 | | | | | |
| 補助金 | (名称と交付者を備考欄に記載願います。) | | | | |
| 一般寄付金 | 活動全般に使ってよい寄付金 | | | | |
| 特別寄付金 | 便益を限定した寄付金 | | | | |
| 雑収入 | 普通預金利息 | 100 | 123 | ▲ 23 | |
| ②本部からの支部費 | (支部のみ、選挙の為の通信費も含む) | | | | |
| 本部からの支部活動活性化サポート費 | (支部のみ) | | | | |
| 本部からの活動助成費 | 活動助成金額(税金も含む) | 70,000 | 43,010 | 26,990 | セミナー報告書より |
| 経常収益計 | | 1,159,440 | 986,163 | 173,277 | |
| (2) 経常費用 | | | | | |
| ①事業費 | | | | | |
| 大会会場使用料 | | 1,259,000 | 1,098,568 | 160,432 | |
| 大会講師謝金 | 講師への支払い総額(旅費交通費含む) | 40,000 | 0 | 40,000 | |
| 大会旅費交通費 | 実行委員会メンバーなど講師以外への支払い | 90,000 | 92,310 | ▲ 2,310 | |
| 大会消耗品 | 文具等だけではなく弁当代、懇親会費等も含む | 170,000 | 114,822 | 55,178 | 懇親会費+弁当代+茶菓子代 |
| 大会印刷費 | | | | | |
| 大会研究発表要旨集作成費 | | 75,000 | 0 | 75,000 | |
| 大会通信運搬費 | | 30,000 | 0 | 30,000 | |
| 大会臨時雇賃金 | | | | | |
| 総会費 | | | | | |
| セミナー・講演会等会場使用料 | | 0 | 20,369 | ▲ 20,369 | |
| セミナー・講演会等講師謝金 | 講師への支払い総額(旅費交通費含む) | 120,000 | 70,000 | 50,000 | 外部講師関連料 |
| セミナー・講演会等旅費交通費 | 実行委員会メンバーなど講師以外への支払い | 60,000 | 0 | 60,000 | |
| セミナー・講演会等消耗品 | 文具等だけではなく弁当代、懇親会費等も含む | 0 | 2,766 | ▲ 2,766 | |
| セミナー・講演会等印刷費 | | | | | |
| セミナー・講演会等研究発表要旨集作成費 | | 0 | 58,360 | ▲ 58,360 | 要旨集関連費 |
| セミナー・講演会等通信運搬費 | | 0 | 54,690 | ▲ 54,690 | 通信費+保険料+その他 |
| セミナー・講演会等臨時雇賃金 | | 48,000 | 56,100 | ▲ 8,100 | 人件費 |
| 学会誌等関連印刷費 | | 300,000 | 370,688 | ▲ 70,688 | |
| 学会誌等関連通信費 | | 40,000 | 860 | 39,140 | |
| 学会誌等関連原稿料・校閲料等 | | 10,000 | 0 | 10,000 | |
| 学会誌等関連電子ジャーナル化費用 | | 180,000 | 153,340 | 26,660 | |
| 研究補助費 | | | | | |
| 表彰費 | 奨励賞等 | | | | |
| 関連学会等会費 | | | | | |
| 会議費 | 会議用のお菓子、お茶等 | | | | |
| 広報費 | ホームページ等 | 50,000 | 73,677 | ▲ 23,677 | |
| 旅費交通費 | 大会、セミナー・講演会関連以外の事業に関する旅費交通費 | 10,000 | 0 | 10,000 | |
| 事務委託費 | | 30,000 | 26,400 | 3,600 | |
| 支払負担金 | 振込手数料 | 6,000 | 4,186 | 1,814 | |
| 雑費 | 大会、セミナー・講演会関連以外の事業に関する雑費 | | | | |
| ②管理費 | | 115,000 | 57,707 | 57,293 | |
| 給料手当 | | 20,000 | 0 | 20,000 | |
| 福利厚生費 | | | | | |
| 旅費交通費 | (本部のみ) | | | | |
| 通信運搬費 | 大会、セミナー・講演会関連以外の通信運搬費 | 70,000 | 37,192 | 32,808 | |
| 備品費 | | | | | |
| 消耗品費 | 大会、セミナー・講演会関連以外の消耗品 | 15,000 | 3,465 | 11,535 | |
| 光熱水料費 | | | | | |
| 雑費 | (本部のみ) | | | | |
| 租税公課 | (法人税、消費税等本部のみ計上) | | | | |
| 地代 | (本部のみ) | | | | |
| 印刷費 | 大会、セミナー・講演会関連以外の印刷費 | 10,000 | 17,050 | ▲ 7,050 | |
| 修繕費 | | | | | |
| 減価償却費 | (本部のみ) | | | | |
| リース料 | | | | | |
| 事務所管理費 | | | | | |
| 退職給与引当金繰入額 | (本部のみ) | | | | |
| ③支部費 | | | | | |
| 支部活動活性化サポート費 | (本部の支出を計上する欄) | | | | |
| 活動助成費 | | | | | |
| 経常費用計 | | 1,374,000 | 1,156,275 | 217,725 | |
| 当期経常増減額 | | ▲ 214,560 | ▲ 170,112 | ▲ 44,448 | |
| 2. 経常外増減の部 | | | | | |
| (1) 経常外収益 | (例えば不動産を売る等、通常の活動外での収入、支出などのほぼ該当なし) | | | | |
| (2) 経常外費用 | | | | | |
| 当期経常外増減額 | | | | | |
| 当期一般正味財産増減額 | | ▲ 214,560 | ▲ 170,112 | ▲ 44,448 | |
| 一般正味財産期首残高 | (2022年度末の定期預金、普通預金、現金等の全ての金額) | 3,716,435 | 3,716,435 | 0 | |
| 一般正味財産期末残高 | (2023年度末の定期預金、普通預金、現金等の全ての金額) | 3,501,875 | 3,546,323 | ▲ 44,448 | |